

令和2年10月13日
(2020年)

各所属長 殿

市 長

令和3年度予算編成方針について

今般の新型コロナウイルス感染症は社会経済に甚大な影響をもたらしており、本市においても、その対策に多額の財政支出を要し、税収も大幅な減が見込まれるなど、大きな危機に直面しています。

こうした状況から、令和2年度に実施を予定している事業のうち、後年度の財政負担が大きい未着手の事業については、着手を見合わせるなど、事業の進捗に制限をかけているところではありますが、令和3年度以降も、事業の実施については慎重に検討を進めていく必要があります。

一方で、新型コロナウイルス感染症対策として必要な施策については引き続き、適切に実施していかねばなりません。さらに、新しい生活様式の実践などにより、一人ひとりの行動様式や社会的な慣習が大きく変わるなかで、それに対応した行政サービスを提供していくことも重要となっています。

以上のことを踏まえて、新年度の予算編成に当たっては、次に掲げる基本方針に基づき、これまで以上にスクラップアンドビルドを意識して、メリハリをつけた予算となるよう留意して下さい。

1. 社会経済情勢と国の動向

内閣府がまとめた月例経済報告（令和2年9月）によると、我が国の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にありますが、各種政策の効果もあり、このところ持ち直しの動きがみられます。ただし、国内外の感染症の動向や、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があるとされており、先行き不透明感が根強く残っています。

このようななか、今年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020」（いわゆる「骨太の方針」）では、当面の経済財

政運営に向けた考え方として、休業者や離職者をはじめ国民の雇用を守り抜くことを最優先とし、決してデフレに戻さない決意をもって経済財政運営を行うことや、「新たな日常」の実現に向けた動きを加速することなどがあげられています。

また、感染症により顕在化した国・地方が連携・協力して解決すべき課題や、広域的な医療・福祉サービスの提供や民間活用等の課題に取り組むこと、さらに、全ての行政分野において、地方自治体間の多様な広域連携を推進することなどがあげられており、地方自治体においても「新たな日常」を牽引していくための改革を進めることが求められています。

2. 本市の財政状況

令和元年度普通会計決算では、年度末市債残高は減少したものの、財政基金については、阪神・淡路大震災直後を除き最大の53億円という多額の取り崩しを行い、実質収支の黒字を確保したところであります。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から4.3ポイント悪化の99.6%となり、非常に硬直化した財政状況となっています。

今後の見通しについては、社会保障費の増大や公共施設の老朽化対策などに加え、引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、感染拡大防止・医療体制の強化にかかる取組や、困窮する市民や事業者への支援、景気回復に向けた施策の実施などの財政支出が見込まれるほか、景気・雇用の悪化による生活保護などの経費の増大も予測されます。一方で、市税収入は大幅に減収となる見込みであり、国の財政が悪化しているなか、地方交付税・交付金等も含めて財源の確保が極めて難しくなるなど、非常に厳しい財政運営を強いられるものと考えています。

3. 予算編成に当たっての基本方針

新年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策について適切かつ迅速に対応するとともに、行政経営改革前期実行計画の取組を着実に実施し、効率的で効果的な行政経営を目指します。

予算編成に当たっては、下記の基本方針に沿って、別途指示する「令和3年度予算編成要領」に基づき取り組むこととします。

- (1) 令和3年度は深刻な財源不足が見込まれることから、新規・拡充事業については、厳に抑制に努めることとし、制度改革に伴うものや喫緊の課題に対処しなければならないものなど、必要最低限に留めること。新規・拡充事業の実施が必要な場合においても、国県補助金等のさらなる活用や既存事業の見直しなどにより、財源確保に努めること。
- (2) 限られた財源を重点施策に配分するため、歴史的使命を終えた事業や、費用対効果が著しく低い事業、他事業との統合が図れる事業などの見直しを積極的に行うとともに、内部事務経費の徹底的な削減に努めること。
- (3) 行政経営改革前期実行計画の取組として、ICTの活用や民間活力の導入など、業務の効率化や後年度の財政負担軽減につながる取組についてはその効果を十分に精査したうえで進めること。
- (4) 新型コロナウイルス感染症への対応は、引き続き社会の状況に応じて必要な施策を効果的に打ち出せるよう取り組むこと。

以上